活き活きと輝き、誇れるまちの今を届ける

広報湯前

Public Relations

Since1962.

http://www.yunomae.com/
［まちの情報誌ゆのまえ］

3
TheMonthly
Mar_2018
Vol.441

特集 湯楽里オープン20周年

ともに歩み、20年――

広報湯前 2018 Vol.441 3

城泉寺の雪化粧／
何度も雪が積もった２月。１日の明け方には大きな粒の雪が降り、数時間で銀世界をつくりだしました。城泉寺のかやぶき屋根も真っ白。寒空の下、数人のカメラマンが幻想的な城泉寺を撮ろうと立ち寄っていました。

今月のみどころ

今月の表紙

３月20日でオープン20周年を迎える湯楽里。笑顔で出迎えてくれたのは支配人代理の栗須貴久さん(44＝上里３)と料理スタッフの北崎芙美さん(19=瀬戸口)。北崎さんは「皆さんにおいしいと喜んでもらえるような料理を作っていきたい」とはにかみながらインタビューに答えてくれました。

入浴200万人、おめでとう——

200万人目として栗須支配人代理から記念品を受け取る早野さん家族

ゆのまえグリーンパレスの頂上にあり、ひらがなの「ゆ」をかたどった建物。ゆのまえ湯楽里株式会社（鶴田正已社長）が運営するゆのまえ温泉「湯楽里」。平成10年３月20日にオープンし、今月で20年を迎えます。今回は湯楽里の歩みとこれからについてみていきましょう。

特集 湯楽里オープン20周年
ともに歩み、20年—

九州山脈を一望できる湯楽里。中には宿泊棟、温泉、レストランや売店などがあり、多くの人が利用しています。湯楽里には年間７千人ほどが宿泊。本館の宿泊棟、ロビーから吊り橋を渡った先には６棟のコテージ。グリーンパレス中段広場には奥球磨杉やヒノキをふんだんに使ったゲストハウスもあります。

グリーンパレスキャンプ場を利用する人にも温泉が近いと好評。近くには体育館やプール、認定グラウンドゴルフ場など体を動かすことのできる施設もあり、大人から子どもまで、幅広い年齢層に親しまれています。

山間部で塩湯

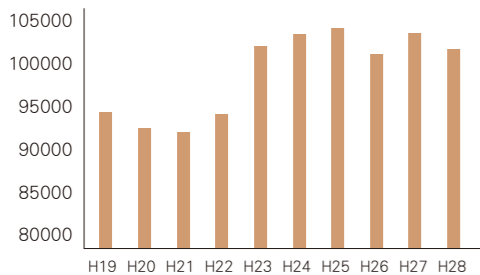
木のぬくもりに包まれた大浴場に薬湯。絶好のロケーションの露天風呂。髪にやさしいシャンプー、洗顔や化粧水などサービスにこだわり、毎日温泉を利用する「湯楽里ファン」が町内外にたくさんいます。

温泉の泉源はグリーンパレスのそば。「潮神社」近くにあります。平成22年３月に新たな泉源を発見。現在供給されている温泉は泉源で44・5度。毎分３００㍑の湯量を誇ります。ナトリウムが豊富で海岸ぞいの温泉地でよくみられる「塩湯」が特徴。山間部では珍しく、人吉球磨でも湯楽里だけです。

潮神社の言い伝え

泉源近くの潮神社にまつられている神様は安産祈願や夫婦円満で知られる宮崎県日南市の鵜戸神宮と同じ。神社のよこには小さな井戸があり、その水は山の中にあるのになぜか潮の香りがします。お湯に塩分が含まれているのは、地下水脈で日南海岸とつながっているからだという言い伝えもあります。

祝、入浴者２００万人

ことし２月18日で温泉の入浴者数が２００万人を突破しました。平成23年からは利用者が毎年10万人を超え、１９０万人を達成した昨年４月から10カ月で10万人を超えました。

２００万人目として記念品を受け取ったのは早野美香さん（41＝あさぎり町）、長女の美愛さん（あさぎり町立上小学校５年）、次女の美櫻さん（５）、長男の眞翔さん（３）の４人。支配人代理の栗須貴久さんが「おめでとうございます」と長女の美愛さんに旬のイチゴや野菜、製菓が入った特産品セット、次女の美櫻さんに花束を贈りました。母親の美香さんは「公園で遊んだあとによく利用しています。シャンプーなどのアメニティも良いし、温泉の泉質や温度も良く、施設全体が好きです。住んでいるところからは少し遠いですが、遊びに来たときはまた入りたいです」と湯楽里に好印象を抱いていました。

H23年からは10万人以上が利用している

まっすぐな気持ち——

湯楽里の魅力を磨きあげているのはそこで働く「人」。湯楽里で腕を振るう料理長や働く従業員にそれぞれの思いを聞きました。

INTERVIEW

6代目料理長

荒川 巧さん(46＝上里1)

Profile: あらかわ　たくみ
高校を卒業後、福岡の専門学校に通い、栄養士の免許を取得。熊本市内の病院で栄養士として働き地元に帰郷。湯楽里オープンと同時に料理スタッフに。平成25年、6代目料理長に就任。

食材に対して素直に

施設の顔ともいえる「食事」。レストランでは6人が働いています。料理長の荒川巧（たくみ）さんはオープン当初から働き、先代5人の料理長から技術を学んで腕を磨きました。

献立は現在、荒川さんが考案。ディナーは10～20種類を新しくするなど、毎年6月に注文の状況を見直し、メニューを更新しています。懐石料理は年7回、湯楽里御膳は四季ごと、ほかのプランの料理も定期的に変更。春は葉物、冬は根物など、季節に合わせた調理法で湯前の旬をお客さんへ届けています。これだけの量をこなす料理長の苦労は人一倍。荒川さんは「自宅でテレビを見るときなど、常に何かできないかと考えています。一年一年見えるものが違い、新しい気づきがあります」と常に向上心を持ち続け、アイデアを形にしています。

「本当においしいものはそのままでもおいしい。食材に対して素直になることを心がけています。この地域は頑張っている生産者が多く、良い食材もたくさんあります」と、肉や野菜は地元を中心に仕入れ、素材の良さを生かして調理。2年前から平日限定で提供する昼食のサラダバーでは人吉球磨の野菜もPRしています。

2年前から平日限定で始めたサラダバーでは地元の素材の良さをアピール。毎回23種類以上がならんでいる

旬のおいしさを最大限に引き出すために、年7回更新している懐石料理。3月からのメニューは彩りも豊か

「おいしい」をキャッチする

「料理の本質は食べてくれる人が確実に『おいしい』といってくれるものを提供すること。料理人のとしてプライドにこだわりすぎることなく、お客さまから何を求められているのか、基本に忠実に考えたいです」。こだわりぬいて自分が納得するものをお客さんに出しても反応が良くないこともあったという荒川さん。原点回帰への思い。そこには、食べる人を第一に思う強い気持ちがありました。

「施設も料理もお皿一つとっても、きれいな方が当然お客さまに喜ばれます。きれいな料理で喜んでもらい、最後まで食べてほしいという気持ちも持っています」。

湯前のストーリーを生かす

「流行りのものをやっていくばかりではなく、湯前のストーリーや、元々持っている能力を生かしていかなければなりません。湯前名物の骨かじりはまだまだ知られていませんが、食べてもらった人には好評で、送ってくださいと言われることもあるほどです。料理でも温泉でもきっかけはかまいません。湯楽里そのものを知ってもらうことで、自分が魅力を感じた湯前という町をたくさんの人に知ってもらいたいです」。荒川さんは湯楽里の、まちの可能性を信じて調理場に立っています。

食べる人を思いながら調理する荒川さん。町の可能性を信じて腕をふるう

笑顔の「つなぎ役」

Voice

フロント主任

榎元 亜紀さん
(41＝浅鹿野出身)

人と接することがやりがい

現在、湯楽里には28人が働いています。フロント主任を任されているのは入社4年目となる榎元亜紀（あき）さん（あさぎり町在住）。19年務めていた工場系の会社を退職し、ふるさと、湯前で働くことを決意しました。

榎元さんは玄関を入ってすぐのフロント席で、来館者のお出迎えや予約の受け付けなど、接客全般を担当しています。「以前の会社では機械と接することばかりだったのですが、元々人と接することが好きな性格なので、今の仕事に大きなやりがいを感じています」とにっこり。

満足して帰ってもらいたい

多くのお客さまに満足してもらいたいという榎元さんは、どんなときも明るく笑顔で接客。「私たちはお客さまとのコミュニケーションを大切にしています。特にフロントは従業員の中でも、一番お客さまの近くにいる存在です。たくさんの人と会話をする中で、良いことも悪いこともヒントをいただいて、自分たちの見直しや良い施設になるための改善点を見つけています。まだまだ日々勉強中ですが、そのヒントを元に各部署と意見を交わしながら、少しでも皆さんに貢献したいと思っています」。榎元さんは施設の司令塔としてお客さんと従業員をつないでいます。

笑顔でお客さんと接している中で改善のヒントを見つけ、提案につなげている榎元さん

これからも、「そばに」──

20年の歩みをこれから先へとつなげるために。湯楽里の現状とこれからについて支配人代理の栗須貴久さんに話を聞きました。

INTERVIEW

支配人代理

栗須　貴久さん（44＝上里３）

Profile: くりす　たかひさ
鹿児島の大学を卒業後、湯楽里に就職。長年フロント主任を務め、予約課長など各部署を経験。昨年10月から支配人代理に就任。

湯楽里ならではの「真心」

「明るい笑顔の真心サービスを提供する」。経営理念は当初から変わらず、引き継がれています。「一流ホテルのようなスマートなサービスはできなくても、真心を込めたサービスはできます。湯楽里だからこそできるおもてなしを続けることがリピーターにつながると信じています」と栗須さんは語ります。

従業員はあいさつだけでなく、よくお客さんに話しかけ、逆によく話しかけられもします。「お客さまに満足して帰ってもらうには、『人』の部分が大事。仲良くなったお客さまからお礼の手紙をいただくなど、喜んでもらうことが私たちのやりがいです」。

部署を超えて忙しそうなところをカバーし合う従業員たち。職場の雰囲気づくりも重んじる栗須さんは「笑顔やあいさつ、基本を続けることは大変なことです。スタッフがモチベーションを保てるような環境にも気を配らなければなりません」と従業員を家族のように大切にします。

清潔感を大事に

20年を過ぎた今、温泉の設備を定期的に修理するなど、老朽化も課題になっています。「修理はお客さまの迷惑にならないように必要なところからやっています。毎朝の温泉の清掃など、老朽化を感じさせないようにすみずみまで徹底して清掃しています」。そのこだわりは、お客さんから20年も経っているのが信じられないとお褒めの言葉をもらうほどです。

40人収容の本館の宿泊棟は、1年を通して、全客室の6割以上が利用されています。しかし、近年、宿泊客のニーズが変化。数人で宿泊しても一人一部屋を望む声も多く、定員に満たないことが増えています。「まわりの恵まれた施設を生かして団体の宿泊を増やすには営業をかけていかなければなりません」と宿泊客の呼び込みにも力を入れます。

地元から認められる施設に

「生き残らなければならない」。栗須さんは目標の一つとして他の施設との差別化を挙げます。「まずは安定した経営を続けること。サービスに磨きをかけつつ、宿泊、料理などをさらに充実していかなければなりません。お客さまが求めているものを常にとらえ、現在の施設を生かして、どう足を運んでもらうか。イベントも企画しながら、何を変えて、何を続けていくかを考えていきます」。

20年で観光・宿泊の拠点として地域の核となった湯楽里。「地元の皆さんに認めてもらって、湯楽里があるから湯前においでと自慢してもらいたいです。お客さまや町民の皆さんと意見を交わし、一緒に良い施設をつくりあげていきたいです」。湯楽里の挑戦はこれからも続きます。

特集　ともに歩み、20年（完）──

Infomation

3月10日（土）、
ランチバイキングと温泉、音楽を楽しみませんか？

20年の感謝を込めてスペシャルイベントを開催します

日　時　3月10日(土)　午前11時~

内　容
- **午前11時〜**　**ランチバイキングスタート(デザート付き)**
- **正午〜**　**地元３グループのライブと地元パフォーマーのショータイム**
  - 正午〜　デル・フィオーレ（ゴスペル）
  - 0時30分〜　Diva
  - 0時50分〜　So-rapido（ジャズバンド）
  - 1時20分〜　チャーリー西（大道芸）
- **午後１時40分〜**　**湯楽里ペア宿泊券が当たる大抽選会**
  後日使える入浴券もついてきます（有効期限あり）

金　額　前売券　2000円　当日券　2500円（小学生以下は前売り・当日ともに1000円）
※席には限りがありますので早めに申し込んでください

〜玄関前の広場でもイベント多数〜

午前10時〜　**湯前名物「骨かじり」のふるまい**
午前10時30分〜　**和太鼓演奏**　一期一会
午前10時〜午後４時　**「湯のマルシェ」**スイーツや惣菜、小物を販売
- 菓子工房HANA（チーズ饅頭）
- 庄籠製菓舗（かりんとう万頭ほか）
- おかしのいえ（かわいいパンや焼き菓子）
- ふきだまり（惣菜）
- MI-TO（ハンドメイドアクセサリー、小物、ヘアアクセサリー）

当日は100円で温泉に入ることができます

No.1

第44回郡市対抗熊日駅伝・第35回女子駅伝
落合諒選手が区間2位、本町3選手が出場

トップと1秒差となる区間2位の走りでチームに貢献した落合選手

第44回郡市対抗熊日駅伝が2月11日、天草市役所前をスタート、熊本市のびぷれす熊日会館前をゴールとして開かれ、14区間106・9キロのコースに県内各郡市から19チームが出場し、球磨郡（前田洋監督）は2位でゴールしました。

本町からは落合諒（まこと）選手（湯前中1年＝中猪）が1区（3・40キロ）に、山崎隼汰（しゅんた）選手（球磨工業高2年＝上村）が7区（7・60キロ）に出場。落合選手は先頭とわずか1秒差となる10分22秒の好タイムでスターターとしての役割を果たしました。2区で順位を11位まで落としたものの3区で5位、4区で2位まで追い上げ、山崎選手も4位をキープしたまま後続へ。チームは2位を死守しました。総合タイムは5時間37分59秒。1位の熊本市と6分57秒差でした。

女子の最終区間を任され、一つ順位を上げた吉村選手

吉村柚花選手が7区に出場

第35回熊日郡市対抗女子駅伝は1月28日、熊本市のびぷれす熊日会館前を発着点とする7区間28・4キロのコースで、19チームが出場。14位でたすきを受けた7区（5・00キロ）吉村柚花（ゆずか）選手（人吉高2年＝浅鹿野）は17分56秒のタイムで1人を抜き、球磨郡は13位でゴールしました。

〈男子総合成績〉
①熊本市　5時間31分02秒
②**球磨郡　5時間37分59秒**
③阿蘇市　5時間38分18秒

〈個人成績〉（本町関係）
※（通過順位）（区間順位）
▽1区（3・40キロ＝中学1年）
落合　諒（湯前中1年）
10分22秒　（2）（2）
▽7区（7・60キロ）
山崎隼汰（球磨工業高2年）
25分19秒　（4）（11）

〈女子総合成績〉
①熊本市　1時間35分05秒
②宇城市　1時間35分42秒
③山鹿市　1時間38分18秒
⑬**球磨郡　1時間42分30秒**

〈個人成績〉（本町関係）
※（通過順位）（区間順位）
▽7区（5・00キロ）
吉村柚花（人吉高2年）
17分56秒　（13）（11）

終盤の追い上げにつながる懸命な走りでたすきをつないだ山崎選手

学校やふるさとへの思いを言葉にのせた生徒たち

Hotopi
ホットピ
ホットなわだいをあなたへ

No.2

湯前中創立70周年記念式典
未来につながる一日に

湯前中学校（古家慎也（しんや）校長）の創立70周年を祝う記念式典が2月19日に同校体育館で開かれ、俳優中原丈雄（たけお）さんの記念講演などが行われました。

同校は昭和22年に創立し本年度で70年の節目を迎えました。式典は吹奏楽部の演奏でスタート。古家校長は「これまで町内唯一の中学校として、勉強や部活動、地域活動などで輝かしい成果を上げてきた。地域から支援をいただきながら、特色ある取り組みを続けることができている。今日は70年を振り返り、未来につながる日にしたい」とあいさつ。

昭和47年に湯前中吹奏楽部を題材にした映画「山のこだま」をなどの映像を流し、本町のゆかりのある中原さんが「ふるさとを離れ、俳優になり、そして今日まで」の演題で講演。この日は生徒や関係者だけでなく、湯前小学校5・6年生やたくさんの地域住民もかけつけ、中原さんの話に聞き入りました。中原さんは学生時代や俳優になるまでの生活を振り返りながら当時の思いを語り、「中・高校生の時期から心、頭、体がしっかりしてくる。自分の将来は今からいくらでも選ぶことができるので、一日一日を大切にして過ごしてほしい」「将来の夢に向かって自分を信じ、自信を持って学生生活を送って」などと生徒にエールを送りました。

講演後は全校生徒99人による発表が行われ、「70年の歴史やふるさとは私たちの宝。たくましく、力強く生きて、未来を切り開いていきたい」と歌とメッセージを会場へ届けました。式典後には2年生の立志式が開かれ、37人が自分の目標や日ごろの感謝を保護者に伝えていました。

自身の経験を語りながら
生徒たちにエールを送った中原さん

熊本、復興の今――

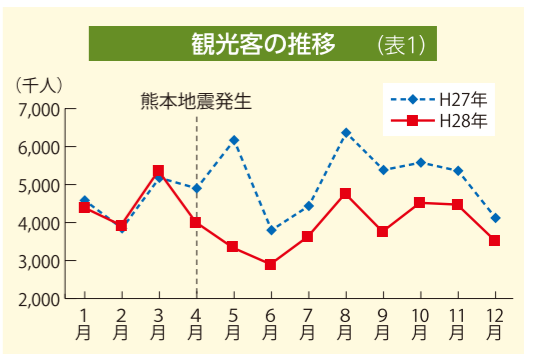
平成28年４月の地震で大きな被害を受けた熊本県。被災地では着々と復興が進んでおり、観光客の出足も戻りつつあります。
今回の特集では、観光地で復興に向けて頑張っている人たちの「今」を伝えます。

熊本地震による被害とその後

全国に誇る名城熊本城、噴煙が地球の息吹を感じる阿蘇山、美しい島々が織り成す天草の景色……。名高い景勝地に恵まれた熊本県は、国内外から多くの人々が訪れる観光地です。

平成27年にはプレミアム付き旅行券が発行され、万田坑（荒尾市）と三角西港（宇城市）が世界遺産に認定されると、宿泊客数が過去10年で最高を記録しました。

ところが、一昨年４月に熊本地震が発生。熊本城が大きく損壊し、阿蘇大橋の崩落など観光地でも甚大な被害がありました。地震から1年が過ぎると、被災した観光施設や宿泊施設が少しずつ営業を再開。復興キャンペーンやＰＲ施策により観光客数は徐々に回復してきたものの、地震前の水準には戻っていません（表1）。

地域経済を活性化し復興を加速するためには、観光客の誘致は欠かせません。また、大きな被害を受けた熊本城や阿蘇地域は、熊本のシンボルとも言える場所。後世に残し、郷土への誇りと愛着を育むためにも、観光地の復興は大切なことです。

このような中、平成29年に熊本城を訪れた観光客が、９年ぶりに２００万人を突破するなど、明るい話題も聞こえてきました。深い傷跡が残る場所に「現状を知りたい、応援したい」という人々が続々と集まってきています。そこには、観光地の現状と魅力を伝える県民の姿がありました。

修復中の熊本城を見てほしい

「本丸の中に入れないから、ガイドそのものが無くなるんじゃないかと思いました」

そう話すのは「くまもとよかとこ案内人の会」副会長の多堀亞夫さん。熊本地震で観光ボランティアガイドの仕事にも大きな変化がありました。

「以前は天守閣や宇土櫓、本丸御殿などを中心に案内していましたが、今案内できるのは城の外回りだけ。それでもたくさんの人が城の修復状況を見に来てくれます」

ガイドの申し込みがあればできるだけ断らないと話す多堀さん。その姿勢の裏には、復興を支えてくれる人たちへの感謝の思いがありました。

「被害と修復の状況を今こそ見ていただきたいですね。天守閣を覆うシートは網目状で、中の作業状況が見やすくなっています。復興過程を見てもらい、歴史や文化に触れながら熊本らしい案内をすることが、支えてくれた皆さんへの恩返しだと思っています」

ボランティアガイド
多堀亞夫（たぼりつぐお）さん

1_複数箇所で石垣が損壊（写真は戌亥櫓） 2_修復中の熊本城を案内するボランティアガイド 3_同じ位置に復元するため整理された崩れた石垣

風評被害に負けない

「地震後、２週間ほどは道路や電気などのライフラインが使えず、観光施設は休業状態でした」と阿蘇市観光協会の稲吉淳一会長は振り返ります。営業を再開できても、風評被害が広がり集客に苦労したそうです。客足を取り戻すためにインターネットを使って「阿蘇は安全ですよ」と正しい情報を発信していますが、観光客数は地震前の５～７割しか戻っていません。

「最近の観光客はインターネットで情報を集める人がほとんどです。その人たちに足を運んでもらうには、信頼度の高い口コミ情報が最も効果的」と稲吉会長は説明します。

「県民の皆さんもぜひ阿蘇に来てください。自然も大きなダメージを受けましたが、生まれ変わろうとする生命力が感じられ、以前とは違った表情が見られます。そこで見た景色や感動の思いを、私たちと一緒に発信してもらえたらうれしいです」

阿蘇市観光協会会長
稲吉淳一（いなよしじゅんいち）さん

一人一人が正確な情報発信を

取材をとおして、観光地の人々の復興にかけるひたむきな姿勢と深い郷土愛を感じることができました。熊本城も阿蘇地域も、こうした人々の思いを糧に、少しずつ元の姿を取り戻しています。

熊本地震から約2年、復興は道半ばです。私たち一人一人が被災地の現状を知り、正しい情報を発信していくことも復興の力になります。古里への愛着と誇りを育み次世代へ受け継ぐことが、明るい未来をつくる「創造的復興」への近道なのかもしれません。

1_倒壊した拝殿（阿蘇神社） 2_崩落した阿蘇大橋と土砂崩れの跡（南阿蘇村） 3_地盤沈下で寸断された道路も現在は通行できる（阿蘇市）

春のくまもとお城まつり

【期　間】3月3日㈯～25日㈰
【ところ】熊本城二の丸芝生広場および周辺
【問い合わせ先】
熊本城総合事務所　☎096(352)5900
※詳しくは、くまもとお城まつりのホームページをご覧ください。

火振り神事

【と　き】3月17日㈯ 午後６時～８時
【ところ】阿蘇神社
【問い合わせ先】阿蘇神社　☎0967(22)0064

ゆのまえ苺まつり

フォトリポート

「2018ゆのまえ苺まつり」は2月11日、農村環境改善センターで開かれ、湯前イチゴの直売やスイーツを求めて、たくさんの人が来場しました。

町特産のイチゴを町内外に広めようと湯前町観光物産協会（上米良秀人会長）が主催し、ことしで8回目。直売会では町内の生産者6戸が手がけた熊紅、さがほのかの2種類が1400パック用意されました。熊紅は熊本生まれの品種。甘味はばつぐんで酸味は控えめ。歯触りの良い食感が特徴で、輸送にも向いています。さがほのかは酸味を抑えた強い甘みが特徴で果肉がしっかりとしている品種です。

直販の会場では、原価で販売された2種類を買い求めて長蛇の列ができていました。先着200人には摘みたてイチゴの無料引換券が配られ、正午に合わせて、イチゴが配られました。

会場内には、イチゴ好きの舌をうならせる絶品スイーツが盛りだくさん。町内の製菓・飲食店がタルト、ケーキ、シュークリーム、エクレア、大福、ゼリー、ソフトクリームなど、自慢のスイーツを販売。唐揚げや焼きそば、惣菜など全11の出店でにぎわいました。

ステージでは、イチゴ生産者の鍋田九吾さん（65＝上里1）が品種やおいしいイチゴの食べ方を紹介。平成18年に「長淵剛ナンバーワン決定戦」で初代チャンピオンとなり、長淵さんのマネージャーを務めた篠宮啓紀さん（あさぎり町出身）のトーク＆ライブ、ゆるキャラステージ、エイサー、太極拳、慈光こども園の体操など、ステージも見どころまんさいでした。

1 甘くて大きなイチゴ。お母さんが赤ちゃんに「あーん」 2 イチゴを買い求める来場者 3 おすすめを教える販売者 4 イチゴがぎっしりつまったエクレア 5 めずらしい白イチゴを使ったスイーツ 6 迫力の歌声と演奏を披露した篠宮さん

7 大人顔負けの演舞を披露した慈光こども園の園児 8 イチゴのプレゼントにならぶ来場者 9 風船を持ってお店にゴー 10 赤い宝石のように輝くイチゴ 11 軽快な太鼓を会場いっぱいに響かせたエイサー

ZoomUp

第61回熊本県広報コンクール 広報湯前が5年連続で特選

1 受賞を喜び合う人吉球磨の広報担当者たち(湯前：左から2番目) 2 一枚写真の部で入賞した6月号の表紙。なごやかな雰囲気が評価された 3 こだわりや思いを他市町村の担当者へ紹介する本町の担当者

第61回熊本県広報コンクールの最終審査が1月18日、熊本日日新聞本社（熊本市）で行われ、本町が発行する「広報湯前」が広報紙・町村の部で1位となる特選を5年連続で受賞、一枚写真の部でも3位となる佳作を受賞しました。

コンクールは市町村広報紙のレベルアップを目的に毎年開催され、熊本県広報協会、熊日新聞社が主催。県内の市町村から広報紙の部に22点、広報写真・組み写真の部には103点の応募がありました。

本町は広報紙の部に平成29年9～11月号、一枚写真の部には湯前中学校3年生の親子競技を撮影した同6月号の表紙「競技でつむぐ親子のきずな」を提出。紙面は審査員から「写真、企画など紙面から熱意が伝わる。9月号の熊本地震の特集は読みごたえがある」、一枚写真は「ユニークでほほえましい。後ろに人が入ったことで臨場感もある」などと評価されました。

9月号はことし5月に行われる全国広報コンクールに熊本県代表として出品されます。広報紙・市部と組み写真の部では人吉市が入選、町村部で錦町や相良村も佳作を受賞するなど、ことしも人吉球磨の活躍が目立ちました。

広報紙・町村部

▼**特選　広報湯前　（湯前町）**

▼入選　広報れいほく（苓北町）

▼佳作　広報さがら　（相良村）

　　　　広報錦　　　（錦町）

同・市部

▼特選　広報きくち　（菊池市）

▼入選　広報ひとよし（人吉市）

広報写真・一枚写真の部

▼特選　春のどろんこ体育大会　（菊池市）

▼入選　不知火・海の火まつり　（宇城市）

▼**佳作　競技でつむぐ親子のきずな　（湯前町）**

同・組み写真の部

▼特選　八朔祭　（山都町）

▼入選　おくんち祭376年ぶりの大修理を終えたみこしがお　（人吉市）

Treasure of Culture

文化のタカラ。 Vol.11 西光寺阿弥陀堂跡

～日本で最も豊かな隠れ里の歴史～

古城大地に残された面影

湯前城跡の東側に「古城台地」とよばれる台地があります。この一帯は湯前城より古い時期の城跡があり、地名の「古城」もその名残だといわれていますが、その西側のふもとには西光寺というお寺の跡が残っています。

以前は茅葺(かやぶ)きのお堂(阿弥陀堂)があったといわれていますが、戦後に解体・撤去され、現在は周辺に残る石造物や、水上村の生善院(猫寺)に移された木造阿弥陀三尊像などが当時の面影を残すだけとなっています。三尊の像のうち、中尊の「阿弥陀如来坐像」のうしろ側に天正3年(1575)、両脇侍(観音菩薩、勢至菩薩)のうしろ側には天正16年(1588)の文字が残されていて、少なくとも天正年間(1573～1592)にはお堂が建てられていたことが分かります。

観音菩薩には「竹下監物」という人の名前も記してありますが、この人はのちに相良氏の重臣となる相良清兵衛に背いて兵を起こし、湯前城に立てこもって自害しました。

1 古城に残されたお堂の跡 2 古城のお堂から生善院（猫寺）に移された阿弥陀如来坐像

Culture+　城泉寺の仏像制作状況をリポート

完成した姿を皆さんに披露しました

中尾(なかお) 綾子(りんこ)さん

(28=東京藝術大大学院)

1月28日から2月3日まで東京芸術大学で卒業・修了制作展が行われ、東京藝術大学の学部4年生と修士2年生の卒業作品が大学にならびました。私が所属する文化財保存学専攻では、修士2年生約20人が卒業制作品や卒業研究を発表しました。

この専攻には、私が在籍している修復彫刻研究室のほかに、日本画、油画、工芸、建造物、科学、システム保存学などの研究室があります。それぞれの分野から、文化財の保存や修復を考えた研究成果を展示します。展示では仏像の模刻だけでなく、掛け軸やテンペラ画の模写、画材の成分の分析など、文化財全般をどのようにして守っていくか、知る機会になりました。

展覧会の会期中はいろんな人に来ていただきました。人吉球磨からわざわざ足を運んでくれた人もいて、とても感動しました。完成した姿を皆さんに披露でき、制作に協力してくれた皆さんへのご恩に、少しでも報いることができたかなと思います。

1 展示にはさまざまな日本の文化の研究成果がならんだ 2 模刻像を作り上げ、たくさんの協力に感謝を伝えた中尾さん

1月30日(火)

違いを認め合おう
人権擁護委員が保育園で教室を開催

人権擁護委員による人権教室が1月30日に湯前保育園で開かれ、園児94人が紙芝居や映像を鑑賞して仲間や命を大切にすることを学びました。

園児に人権の大切さを伝えるために開かれ、湯前町、多良木町、あさぎり町、水上村から５人の委員が来園。紙芝居では、しっぽの長さが違う５匹のブタを引き合いに出して、園児たちに分かりやすく違いを説明しました。山浦たか子委員（63＝下村）は「足が速い遅い、背が高い低い、みんなの違いを認め合おう。命は一人に一つ。お友達や虫・動物の命を大切にして」と園児たちに話ました。

紙芝居で、違いを認め合うことの大切さを伝えた

2月1日(木)

地域と一緒に子どもを育てる
コミュニティ・スクール発足式

学校と地域が一緒になって子どもを育てるためのコミュニティ・スクール(CS)の発足式が２月１日に湯前町保健センターで開かれ、中村和弘教育長が委員15人に委嘱状を交付しました。

CSは「学校運営協議会」を設置している学校のことです。「地域とともにある学校づくり」を目指し、教育委員会が今回湯前小・中学校に導入。昨年６月に「学校運営協議会推進委員会」を立ち上げ、会議や研修を行い、準備を進めていました。

今回、委員となったのは小・中学校両PTA会長や町関係機関、各団体の代表者ら15人。委員に委嘱状を手渡した中村教育長は「となり合う学校の利点を生かしながら、小・中学校の連携を深め、将来を見据えた教育を行っていく必要がある。両校がさらに発展するように全力を尽くしたい」とあいさつしました。

今後は、５月下旬に１回目の会議を開き、会長・副会長を決め、学校の授業参観や運営について意見交換や評価を行っていく予定です。発足式後は、記念講演会が開かれ、文部科学省コミュニティ・スクール推進委員の四柳千夏子さんが「子どもたちの未来のために今、私たちにできること～『地域とともにある学校』づくりに向けて～」の演題で講演。委員や各学校の教師など40人が話に聞き入りました。

1 四柳さんの話に聞き入る参加者たち 2 両校の連携を深めた教育に全力を尽くしたいと話した中村教育長

2月5日(月)

雰囲気に慣れ親しんで
湯前中で招待授業

湯前中学校の招待授業が２月５日に同校体育館で行われ、湯前小学校６年生24人が中学校の教師からバドミントンを習いました。

ことし４月に入学する児童が学校の雰囲気に慣れ親しめるようにと教育委員会が主催。保健体育を担当する久間章弘（あきひろ）教諭が児童に指導しました。ラケットの握り方や振り方を教わった児童は、二人一組で試合。藤岡慈将（まなと）さん（同校６年＝上里３）は「ラケットの持ち方や打ち方の説明が分かりやすかった。中学校に入学するのが楽しみ」と話していました。学校運営協議会委員10人も授業を見学。委員は授業後に給食の試食も行いました。

楽しくバドミントンを体験する６年生

2月15日(木)

親子の思い出きざむ
湯前小6年生卒業記念植林

卒業を記念した湯前小学校６年生の親子植林が２月15日に潮大橋下で行われ、児童24人とその保護者が参加し、仲良く100本の木を植えました。

児童にふるさとへの愛情をもってもらえるようにと町が主催し、毎年会場を移して行われています。この日はカゴノキとミツマタを用意。産業振興課の職員が「ポットから取り出し、深く土を掘る」「葉っぱを取り除き、抜けない程度に踏み固める」などと植え方を説明したあと、一家族２本ずつ植えていきました。当日は雨が降っていましたが、クワで土を掘るわが子に傘を差す、親子の温かな姿がたくさんみられました。

傘を持つ保護者のよこで、元気に木を植える児童

2月16日(金)・17日(土)

インターネットで魅力を発信
観光情報コンテンツ制作

湯前町観光情報コンテンツ制作ワークショップが、２月16､17日に湯前町保健センターで行われ、20～40歳代の町民７人が湯前の観光情報サイト作りに挑戦しました。

町を紹介するインターネットサイトを作ることで、町外の人に湯前へ来てもらうことが目的。テーマを「女子旅」とし、都会に住む女性をターゲットに、焼酎カクテルや榮立寺でのヨガ体験など、参加者自らが体験した内容をリポートしました。作られた記事は「ゆのまえ　ゆるたび　どぅ～ゆ～のぅ？」という名前でインターネット上へ試験的に掲載されています。

URL　http://okukuma.org/magazine/

取材してきた内容を編集する参加者

町外の人に「湯前暮らし」をすすめてみませんか？
お試し移住体験を始めました

移住を考えている人に町の雰囲気を味わってもらえるよう「お試し住宅」を貸し出します。家具・寝具や家電製品をそろえた住宅です。町外の知り合いにすすめてみませんか？

■対　　象　町外に住んでいて、本町への移住を考えている人
■住　　所　湯前町2632番地３（湯前駐在所となり）
■間 取 り　４DK ※玄関口から広い土間あり
■利用期間　１泊２日～30日
■利 用 料　１泊２日～７日…１万円
　以降８日～30日…１日1000円 ※水道・光熱水費含む
■設　　備　家具家電、布団、食器、調理器具など一式完備。
　冷蔵庫完備で自炊可能（食材、調味料などは持参）
■申し込み　①予　約　空き状況と利用期間を総務課企画振興係で確認
　②申込み　利用する10日前までに申込書と身分証明書の写しを提出（郵送可・申請書は役場ホームページ）
■提 出 先　〒868-0621　熊本県球磨郡湯前町1989番地１
　湯前町役場総務課 企画振興係

問い合わせ　総務課

あなたの「いつまでも自宅で暮らしたい」を支えます
住み慣れた場所で安心して暮らすための サービス・支援を受けることができます

人吉球磨の市町村は各機関と連携して自宅で暮らしたい人を支援します。「医療や介護が必要になっても自宅で暮らしたい。だけど、どうしたら良いか分からない」という人は保健福祉課に連絡してください。

診療所（医師）
往診をします

歯科診療所（歯科医師・歯科衛生士）
往診をします
口腔ケア・リハビリをします

通所リハビリ・通所介護
自宅から施設へ通い、入浴、食事などの日常生活の訓練をします

福祉用具サービス
杖、車イス、ベッドやポータブルトイレなどを用意します

住宅改修
手すりを取りつけたり、段差をなくしたりして暮らしやすい住まいに改修します

我が家にて いままでのごと できるとぞ

薬局（薬剤師）
自宅へうかがい、安心して薬を使えるようにします

訪問看護（看護師・保健師）
自宅へうかがい療養のお世話をします

訪問リハビリ
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がうかがい、機能訓練をします

訪問介護
入浴、食事、排泄などの介護や生活を援助します

ケアマネージャー
介護計画を作成し、いろんな相談にのります

主　体：人吉球磨在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会
協力機関：人吉市・球磨郡医師会、人吉市・球磨郡歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員協会、訪問看護事業所、訪問介護事業所

問い合わせ　保健福祉課

ECOLOG
ごみ情報

リサイクルステーションから
☆リサイクルできないものはステーションへ持ち込まないで
・カセットコンロは、燃えないごみへ
（リサイクル品ではありません）

傷ついた地球、私たちの生活を見直しませんか？

《環境問題と理由》※前月号の続き

【熱帯林】……………二酸化炭素を吸って酸素をつくる
水を保全し、野生動物を育む

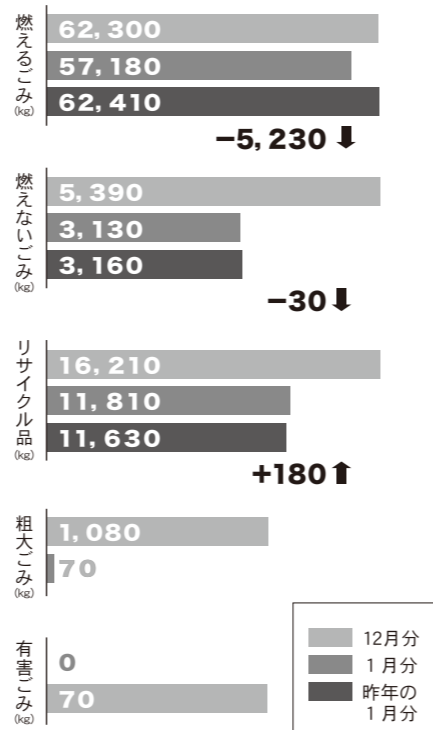
なぜ減少？：焼畑農地、燃料・原料・木材として木を切りたおす

【オゾン層】…………生き物にとって有害な紫外線の大半を吸収

なぜ破壊？：フロンなどの化学物質。皮膚ガンや白内障の増加、植物の生育を妨げるなどの影響も出ている

【砂漠化】……………地球の陸地の4分の1が砂漠化の影響を受けている（36億ヘクタール）

なぜ進行？：田畑の酷使、燃料として木を切りたおす、少なくなった木や草を家畜が根まで食べ尽くすことなど

３月の不燃物収集は７日です（第１水曜日）

BOOKS
読書のススメ

中央公民館図書室　※貸出期間２週間／一人５冊まで
〇平日　午前８時30分～午後５時　〇土日・祭日　午前９時30分～午後５時
［問い合わせ］教育委員会　TEL0966-43-2050

一般図書

日本、台湾、中国の間で描かれる青春小説

真ん中の子どもたち
温 又柔（著）　集英社

台湾人の母と日本人の父の間に生まれた琴子、台湾と日本のハーフの嘉玲、中国人の両親をもつ舜哉。上海の語学学校で出会った3人は悩みながら友情を深めていく。

俳人、種田山頭火の熊本時代を浮き彫りに

山頭火意外伝
井上智重（著）　熊本日日新聞社

行乞流転（ぎょうこつるてん）時代の代表作の舞台は実は…天草だったのか？　漂泊の俳人・種田山頭火の真の姿。次々に明かされる"新発見"の数々。山頭火の"常識"に一石を投じる。

児童図書

桜の木の一年

さくら
長谷川 摂子（著）　福音館書店

花が散って葉桜になると、葉陰には小さなサクランボが実り始める。夏には虫で大にぎわい。一本の桜の一年を、細部まで描かれた絵と、リズム感のある文章で伝える。

タンポポの生態を描く

たんぽぽ
平山 和子（著）　福音館書店

身近な植物、タンポポの生態の不思議さ、そのたくましさを、長年にわたる観察と写生をもとに見事に描く。実物大に描かれた80センチをこえるタンポポの根は圧巻。

Life News 生活・健康の情報

Physical
湯前さわやかクラブ『だんだん』

３月は新規入会キャンペーン、会費無料で参加できます

湯前さわやかクラブ「だんだん」は、ひと月単位でも入会でき、初心者・経験者問わず、どなたでも気軽に参加できますので、ぜひ活動に参加してみませんか？（教室によってはお金がかかることもあります）

ボウリング以外は、毎週開催します

競　技	会　場	日　時	
ソフトテニス	町民テニスコート	水・木	午後7:00～午後9:00
歌声ひろば	改善センター	水	午後1:30～午後3:00
バレー	B&G体育館	火	午後7:30～午後9:00
卓球	野中田２振興館	火	午後7:30～午後9:30
バドミントン	小学校体育館	木	午後7:30～午後9:00
ボウリング（月2回）	人吉スターレーン	水	午後8:00～午後9:00
		日	午後1:30～午後3:30
トランポリン・スラックライン	B&G体育館	水	午後6:30～
		土	午後2:00～

※トランポリン教室は別途月謝が必要。ボウリングは、別途プレー代が必要
※開催日時・会場は一例。変更する場合があります

◇問い合わせ：湯前さわやかクラブ「だんだん」事務所　Ｂ＆Ｇ海洋センター内　TEL0966-43-4555

Health
保健師だより

健診は、お財布にも優しいって本当ですか？

特定健診を受けている人は、受けていない人よりも治療にお金がかかっていません。40 歳以上の人はぜひ年に 1 回、特定健診を受けてください。

特定健診の受診有無と生活習慣病の治療にかかっているお金

医療費を安くしたい人は特定健診を受けましょう

特定健診の目的は「予防できる病気を予防する」こと。健診結果を見ることで自分の体の状態を知り、かかりやすい生活習慣病などを知ることができます。もし病気になっても、ひどくなる前に早めの対処ができ、医療費が安くすみます。特定健診に限らずがん健診なども同じです。しかし、本町の一昨年度の特定健診受診率（国民健康保険に入っている人）は 49.8 ㌫。球磨郡の町村で最下位になっています。

３月は集団健診の「健診受診希望調査」（一部の対象者を除く※１）の時期です。体とお財布のため、調査票が自宅に届いたら、ぜひ申し込みください！

※1：平成 30 年度に 30 歳～ 75 歳になる人で総合健診に申し込んだ人には、「健診受診希望調査票」は届きません

保健師　野々原 亜紀

今月の行事予定 Calendar 3

※各地区の健康相談は各地区の公民分館で開催
※行事は２月19日時点。場合によっては変更になることがあります

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SUT
				1 B&Gベースアップ教室 19：00～ B&G体育館 広報・旬報配布	2	3 青少年育成講演会 10：30～　改善センター 熊大生による ウオーキングイベント 13：00～　レールウイング
4 奥球磨めぐりん フットパスツアー 9：00～　湯～とぴあ	5 健康相談 9：00～　保健センター B&G会長杯 13：00～ 認定グラウンドゴルフ場	6 にこにこサークル（育児） 10：00～　保健センター 健康相談（辻） 13：30～	7 健康相談（下村） 13：30～	8 B&Gベースアップ教室 19：00～ B&G体育館	9 タブレット講座 14：00～　湯～とぴあ 営農座談会　JA湯前店　19：00～	10 湯楽里20周年イベント 10：00～
11 湯前中卒業式 9：30～	12 健康相談 （野中田2、上村） 13：30～	13 にこにこサークル（育児） 10：00～　保健センター	14	15 B&Gベースアップ教室 19：00～ B&G体育館 旬報配布	16 健康相談（中猪） 13：30～	17 湯前保育園卒園式 9：30～
18 親子アイシング クッキーづくり 13：30～　村枝アトリエ	19 健康相談 9：00～　保健センター 健康相談（浅鹿野） 13：30～	20 にこにこサークル（育児） 10：00～　保健センター	21　春分の日	22 心配ごと相談 13：30～　保健センター 健康相談（古城） 13：30～	23 湯前小卒業式 9：30～	24
25 慈光こども園卒園式 10：00～	26	27	28	29	30	31

戸籍の窓

ご結婚おめでとう

小川　広一　（熊本市）
高木　茉莉亜（上村）

河野　達哉　（宮崎市）
白川　真実　（下里）

ご冥福をお祈りします

矢野　友子　（上里２）
山北　蘭　　（瀬戸口）
大平　照子　（野中田１）
椎葉　虎記　（中猪）
土屋　カヅエ（浜川）
赤城　袈道　（浜川）
半仁田ナナヱ（上里１）

香典返し

矢野　修一　（あさぎり町）
蔵座　与一　（上里１）
山北　茂香　（瀬戸口）
髙田　芳子　（野中田１）
土屋　明子　（浜川）
赤城　羊一　（浜川）

H30. 1. 1 ～ 1. 31

Dietary habits
食生活のススメ

食べ物で花粉症を予防

もうすぐやってくる花粉の季節。花粉症が悪化しないように食べ物にも気をつけてみましょう。

▶「油の多い食べ物」は注意
肉の脂身、天ぷらやフライの油脂を摂り過ぎると、炎症を促進してアレルギーの症状が悪化します。酸化された揚げ油はアレルギーを進行させます。

▶「青魚」は炎症を抑える
青魚に含まれるDHA・EPAは炎症を抑えて症状を改善する働きがあります。

▶ 体を温める「温野菜」
ニンジンは体を温め、炎症を抑える抗酸化成分のカロテンが豊富な野菜です。鼻やのど、目の粘膜を丈夫に保つ働きがあり、花粉症の緩和におすすめです。

これらの食べ物をうまく取り入れて、花粉症の対策につとめましょう。

管理栄養士　田中 朋子

地域おこし
協力隊's eye
隊員「目線」でリポート アイ

湯前ってどぎゃんところ？

とても寒く、何度も雪が降った２月。朝、家を出て見渡す限りの雪景色にびっくり！道に出てみると、散歩をした人と犬の足跡。静かな町の音、冷たい空気、真っ白な景色。ゆっくりと時間が流れていました。

リポーター
安井 佳奈（やすい かな）

「ゆのまえかじり」はこちらから

２月２日、湯前小学校で学習発表会があり、全校児童がこれまで勉強してきたことを発表しました。以前このコーナーで紹介した「湯前町ＰＲ大使」。６年生24人が町のパンフレットを作り、今回、「大好きふるさと湯前町」というテーマで発表しました。

５つの班に分かれ、それぞれ自分たちで取材・撮影。「取材をしてあいさつや言葉づかいなどを学んだ」と話すのは、商業・農業の取材をした那須啓太さん（同校６年＝上村）。前もって取材の練習をしていても、いざ本番となると緊張して取材の難しさを感じたそうです。伝統芸能について取材した財部しずくさん（同校６年＝野中田３）は、「ふるさとである湯前を大切に思い、ほかの町の人に湯前のすばらしさを伝えていきたい」とふるさとへの思いを話してくれました。

湯前の魅力を劇（コント）にして分かりやすく発表。お笑いを交えて町をアピール。体育館は子どもと大人の笑い声でいっぱいに！　最後には合唱曲「ふるさと」を全員で合唱。たくさんの人の前でしたが、さすがは６年生。だれ一人恥ずかしがることなく、はきはきと力強く発表していました。

６年生みんなで協力して作り上げたオリジナルのパンフレットは、「まず地域の人に見てもらい、湯前を知ってもらいたい」とのこと。今後、回覧などで見られるかもしれません。ぜひ読んでみてください。「湯前ってぎゃんとこね」と新たに地元の魅力を感じるような豆知識が載っているかもしれませんよ！

教育長から一人一人に渡された任命証

1 湯前の魅力を劇で発表。体育館は笑い声でいっぱいに 2 きちんと自分たちが調べた歴史や魅力も発表 3 最後には大きな声で歌い、感動を届けた

一足早く春の訪れを感じる ゆのまえイチゴ

射場 絵美（いばえみ）

１月の終わりごろ、駅前の「湯〜とぴあ」でかわいい３つ子のイチゴを発見！　どこでどうつながったのか、３つがキレイにくっついていました。ここでは、めずらしい「白いイチゴ（雪苺）」が販売されていることも。真っ白い実に赤い種がプチプチ。白いのに普通のイチゴより甘いのが不思議。イチゴのあざやかな色を目にしたら、春が早く来ないかなぁと待ち遠しくなりました。

見つけた人はラッキー？

Community

2018 Vol.6
団長　坂口 真紀子

Town Youth

わっかもんもがまだします！

青年団だより

1月28日（日）　熊本県青年問題研究集会

2月4日（日）　第48回球磨郡町村対抗青年団駅伝大会

雪が降る中での開催。３人の団員が区間賞を獲得しました。湯前の順位は惜しくも２位。来年は優勝を目指します！

〜区間賞タイム〜
1区（1.87キロ）　工藤　正明（馬場）７分43秒
3区（2.20キロ）　椎葉　直斗（田上）９分25秒
5区（1.19キロ）　豊永　浩平（上村）４分37秒

2月11日（日）　ゆのまえ苺まつりバザー

2月12日（月・祝）　里宮奉納ミニサッカー大会

雪のため体育館で開催。多良木町青年団も応援に来てくれました。大会のあとは、地域婦人会の温かい豚汁をいただき、体も気持ちもほっこりしました。

これから　3月　湯前町青年団総会

1 懸命の走りで3人が区間賞を獲得 2 児童の熱意と大人のプライドが激突 3 地元の子どもたちと笑顔でふれあうことができました

青年団の活動はフェイスブックをチェック

Communication

Nice Smile!

今月のゆのまえがお

今月のえがおは…

ふきだまりの皆さん

（左から）那須憲代（のりよ）さん、椎葉ムツメさん、甲斐ケイ子さん、椎葉美砂子（みさこ）さん、山本和代（かずよ）さん、深水博子（ひろこ）さん

【ひとこと】
みんなで仲良く、末永く楽しみます！

「笑顔がすてき」「何かＰＲしたい」などたくさんの人を待っています
（総務課　地域おこし協力隊まで　TEL 0966-43-4111）

Editorial note

編集後記

▼私のお仕事の一つ選挙事務。小学６年生の選挙の授業にわずかながら協力しました。だれに投票するか、決めた理由を書いてそれぞれ投票。公約の意味をしっかりと読み取る大切さを学んでいました。きっと18歳になったら自分の考えを持って一票を投じてくれることでしょう。
▼熊本県広報コンクールでは人吉球磨勢が多数入賞。４年間続けてきた10市町村合同特集の一つの成果ではないでしょうか。普段は一人で誌面を作っている担当者が多く、仲間の頑張る姿はどれをとっても勉強になります。お互いに高め合いながら地元に貢献したいですね。
▼１年ぶりにバッティングセンターに行きました。１球目で肩を負傷。スイングするもなかなか出てこないバット。年々体力の衰えを感じるようになりました。よく怪我もします。ボールはミート、ミート（肉）はグッバイ（離れ）しないこと。温かくなってきたので、少しは体を動かす習慣をつけたいと思います。　（宏）

笑顔あふれる「いこいの場」に――

町内のパッチワーク愛好家でつくる「ひなの会」（姉川美恵子代表）の手作りひなまつり展が2月1日から、レールウイング内の展示体験販売施設で始まり、3月21日まで好評開催中です。

ひなの会 手作りひなまつり展

展示はひな人形を活用して町の観光客を増やそうと開かれ、ことしで16回目。作品はすべて会員が仕上げたこだわりの「手作り」。

会場には干支の戌にちなんだ2㍍15㌢の「花咲かじいさん」の布絵をメーンに、吊りびなや小物など約700点の力作がならんでいます。

昨年は6千人を超える来場があり、ことしも遠くは北海道や海外などからたくさんの人が訪れています。

代表の姉川さんは「ことしもぬくもりあふれる作品に仕上がった。会場も新しくなったが、カフェやまんが図書館などと合わせて、訪れた人のいこいの場所になると思う。たくさんの人が笑顔になる展示にしたい」と話していました。期間中は無休で、観覧時間は午前9時30分から午後4時まで。ホット梅酒やお茶の振る舞いもあります。

❶干支の戌にちなんだ作品がたくさん。温かみを感じさせるものばかり❷笑顔で出迎えてくれるひなの会❸吊りびなや布絵などみごたえばつぐん

春のもてなし、本町からスタート

「人吉球磨は、ひなまつり」開幕セレモニー

「人吉球磨は、ひなまつり」のオープニングセレモニーが2月1日にふれあい交流センター「湯～とぴあ」で開かれ、関係者80人が参加し、人吉球磨10市町村でひな人形の展示が始まりました。

10市町村と民間団体でつくる、ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会が主催し、ことしで21回目。式典は朝から雪が降り続く中、「ひなの会」の会員や町関係者などが参加しました。姉川さんが開会し、鶴田正已町長が花咲かじいさんの格好で登場。紙吹雪をまきながら、いちろうくん、りなちゃん2匹の犬雛と一緒に登場しました。

鶴田町長は「郡市の自治体が一体となって、交流人口を増やす取り組みを進めている。早春の人吉球磨を皆さまの力でアピールし、心から喜んでもらえるようなイベントにしたい」とあいさつ。関係者7人がテープカットで開幕を祝いました。

そのあと、人吉初音会の琴の演奏、慈光こども園の年長児によるエイサー、町民による3B体操、レクリエーションダンスで会場を盛り上げました。参加者は式典後にひなの会のつぼん汁の振る舞いを受けたあと、レールウイング内の展示体験販売施設の展示を見て回りました。

花咲かじいさんの格好で登場し会場を沸かせた鶴田町長と犬雛

❶なごやかな雰囲気で来客をもてなす❷ピンセットでつくった「南天九猿」は縁起物として好評❸茶菓子でゆっくりおしゃべり

ほっこりなごんで

布と遊ぼう展

「第6回布と遊ぼう展」が2月1日から永山哲男さん（67＝上猪）の古民家で開かれ、来場者がお茶のふるまいを受けながら、ゆっくりと展示を見ています。

展示は布遊びグループ「いのかくら」（8人）が開催。会員が週1回集まり作り上げたタペストリー（布の壁かけ）、さげもの飾り、干支の戌にちなんだ小物などが色鮮やかに飾られています。会員や来場者が用意したひな人形、着物、ヤナギなども飾られ、作品に花を添えています。

昨年は県内外から約600人が来場。リピーターも増え、手作りのストラップ、ブローチ、クリップなどの小物を買い求めています。会員の永山治実さん（66）は「自分たちにできる量は限られているが、来てくれた人がほっこり和んでくれたら」と話し、昨年10月から会員になった竹下求美子さん（65＝多良木町）は「今まで興味はあったが、手芸の経験はなかった。無理せず自分のペースで作品を作れることが楽しい。和やかな雰囲気が好き。皆さんに負けないようなタペストリーを作ることが目標」と話していました。展示は3月18日まで開かれています。

示現会「会友」

金山充さん

かなやま・みつる

自然が先生。画家になって、子どものころの水の世界を表現したい――

自宅の離れの一室。エプロンを身につけ、大きなキャンパスと向き合う金山充（みつる）さん（66＝下村）。平成23年から本格的に油絵を描き始め、同年、油絵、水彩画などをてがける美術工芸団体「示現（しげん）会」（本部＝東京都）に入会。その後、入選を繰り返し、平成27年に「会友」の称号を得た。

金山さんの手がける油絵は大きいもので、たて162㌢よこ130.3㌢、小さいものでたて53㌢よこ45.5㌢。人権擁護委員や文化財保護委員などさまざまな役を務め、人吉球磨海軍航空隊を顕彰する有志の会としても活動。走ることが趣味の66歳は毎日1～2時間のランニングも欠かさない。多忙の合間をぬい、少しずつ作業を進めていくのが金山さんのスタイル。大きな作品は約3カ月かかることもある。

小学6年生のときに水彩画を県のコンテストに出し、特選を受賞。美術の先生に褒められて絵に夢中になった。人吉市農芸学院に勤めていたころは、職員絵画展に作品を出し、屋久島のスギとシカを描いた「生きる」が法務大臣賞を受賞。審査員からは「人の心を動かす迫力がある」と高い評価を受けた。

作品のテーマは「渓流」。金山さんは「幼いころ、魚釣りや潜って遊んでいた水の世界が別世界のように輝いていた。その魅力に今もひきつけられている」と話す。現場へ向かい、スケッチをして写真を撮影。自然を楽しみながら、伝えたい主題を考え、構図を練る。「流れ方もそうだが、まわりの岩や滝底の表現の仕方で渓流の透明感が変わってくる。岩にうち当たるあわなどを良く観察すること。自然が私の先生」と水の表現に対するこだわりは人一倍だ。

将来の夢は画家。来年には個展も開きたいと意欲を見せる。「一合目から登った富士山の景色を描きたい。球磨川は急流、川辺川は清流といったように、それぞれの美しさを表現していきたい」。金山さんは今日も絵に情熱をそそぐ。

発行／湯前町役場総務課 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1
発行日／平成30年3月1日 印刷／(有)町田印刷